

ダイケン床収納 44型

〈深型〉

〈深型4個入〉

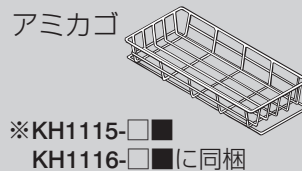
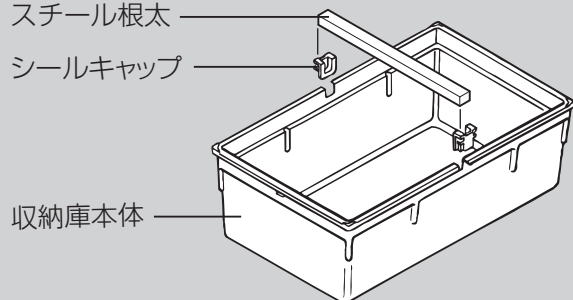
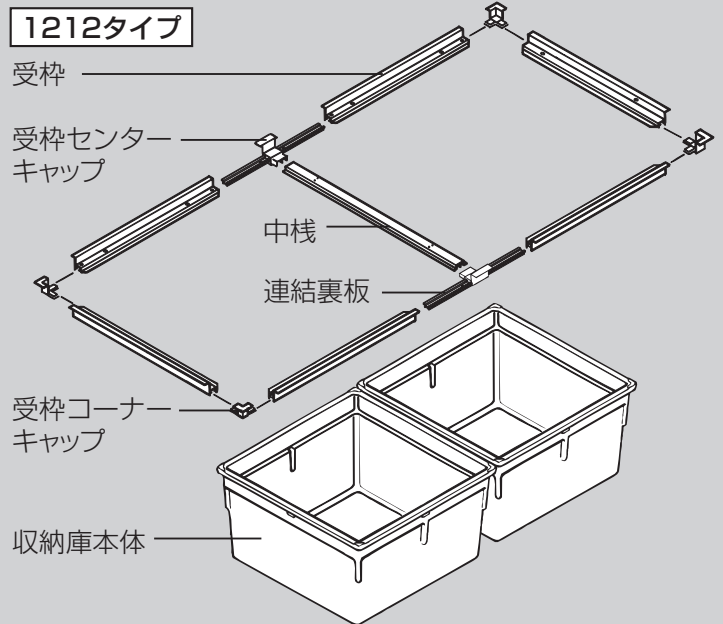
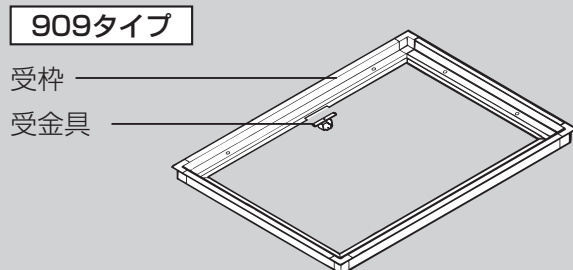
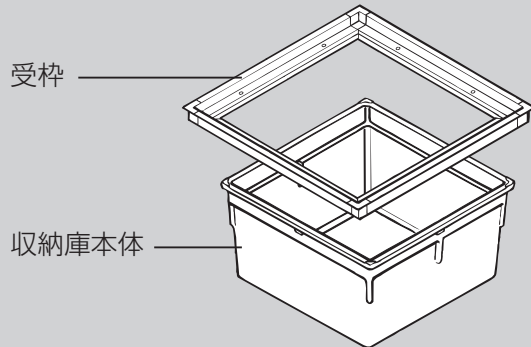
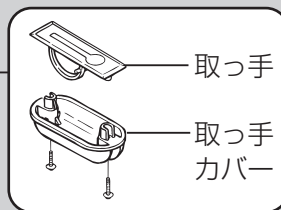
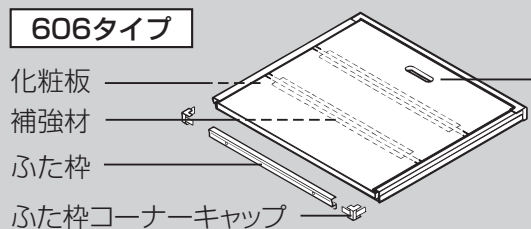
〈浅型〉

KH1115-□■

KH1117-1■4C

KH1116-□■

□ = (1 = 606 / 2 = 909 / 3 = 1212タイプ) ■ = (1 = シルバー / 2 = ブロンズ)



もくじ

1. 安全上のご注意	1
2. 施工上のご注意	1
3. 梱包部品の確認	2
4. 製品寸法図	3
5. 施工のしかた	4
6. 施工後の確認	10

●この製品の性能と安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく施工して下さい。

●この説明書に出てくる △注意 や ◻施工上のご注意は、施工上重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業して下さい。

1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

この説明書に書かれた注意事項は、施工される人への危害や、お使いになる人への危害や物的損害を防ぐためのものです。必ずお守り下さい。

危険の定義とシンボルマーク

この説明書では、「注意事項」を以下のような定義で使用しています。

⚠ 警告

取扱を誤った場合、施工者または使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

⚠ 注意

取扱を誤った場合、施工者または使用者が重傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される場合

⚠ 注意

- 製品の改造しないで下さい。製品強度が失われる可能性があります。
- ガス・水道管・電気配線のある場所に設置しないで下さい。
事故の原因となります。
- 施工時は、必ず指定のネジを使用して下さい。
落下によるケガのおそれがあります。
- ネジの締め付け不足、またはネジの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。
製品が外れて、ケガや破損のおそれがあります。
- 取付用根太は、厚み90mm以上(2階以上設置時は105mm)のものを使い、十分強度を確保して下さい。
本体が落下してケガの原因となります。
- 浅型タイプを2階以上に設置する場合は、必ず2階用吊金具を使用して下さい。
(深型タイプは1階専用です)
階下への落下によるケガのおそれがあります。

2. 施工上のご注意

浸水・溜水…………… 床下浸水のおそれのある場所、地下水位の高い場所及び地下に水の溜りやすい場所には取り付けしないで下さい。

床材…………… 木質直貼床材(裏面クッション材貼り)には使用しないで下さい。
(たわみの原因となります。)

床組み…………… 大引・根太を指定位置に入れて下さい。

本体取り付け方向… 床材の木目方向とふた枠の補強材が直交するように取り付け方向を決めて下さい。

3. 梱包部品の確認

開梱時、種類とタイプを確認し、下表を見ながら梱包部品を確認して下さい。

■ = (1=シルバー/2=ブロンズ)

部品名	606タイプ			909タイプ		1212タイプ		部品図・用途 ※図は606タイプ
	深型	深型4個入	浅型	深型	浅型	深型	浅型	
	KH1115 -1■	KH1117 -1■4C	KH1116 -1■	KH1115 -2■	KH1116 -2■	KH1115 -3■	KH1116 -3■	
受枠	1	4	1	1	1	1 セット	1 セット	
受枠コーナーキャップ	(受枠に取付済)			(受枠に取付済)		4	4	
ふた枠	1 セット	4 セット	1 セット	2 セット	2 セット	2 セット	2 セット	
ふた枠コーナーキャップ	4	16	4	8	8	8	8	
化粧板	1	4	1	2	2	2	2	
補強材	2	8	2	4	4	4	4	
取っ手	1	4	1	2	2	2	2	
取っ手カバー	1	4	1	2	2	2	2	
シールキャップ	-	-	-	2	2	-	-	
スチール根太	-	-	-	1	1	-	-	
スチール根太用受金具	-	-	-	2	2	-	-	
受枠連結裏板	-	-	-	-	-	2	2	
受枠センターキャップ	-	-	-	-	-	2	2	
中棧	-	-	-	-	-	1	1	
収納庫本体	1	4	1	1	1	2	2	
アミカゴ	1	-	1	1	1	1	1	
ツルカゴ	1	-	-	1	-	1	-	
仕切板	1	4	-	2	-	2	-	
受枠・中棧用皿木ネジ φ3.8×25	8	32	8	12	12	16	16	
スチール根太受金具用皿小ネジ M4×25	-	-	-	2	2	-	-	
連結裏板用皿小ネジ M4×6	-	-	-	-	-	4	4	
ふた枠用皿木ネジ φ3.1×16	8	32	8	16	16	16	16	
補強材用ナベタッピンネジ φ4×12	24	96	24	48	48	48	48	
補強材端部用皿木ネジ φ3.1×16	4	16	4	8	8	8	8	
取っ手用ナベ小ネジ M3×20	2	8	2	4	4	4	4	

4. 製品寸法図

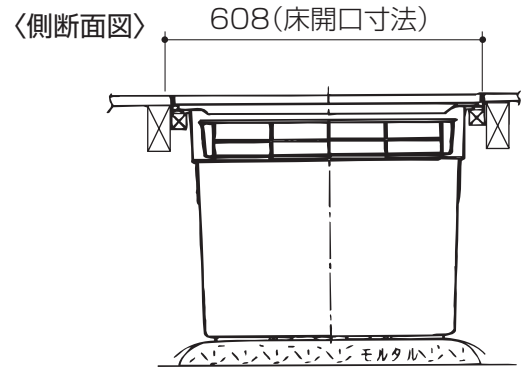
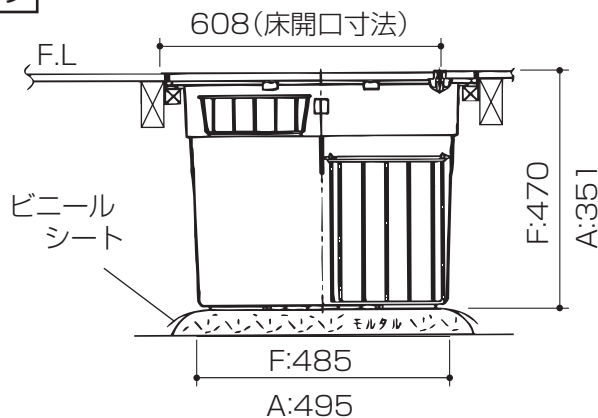
●図は深型の場合です。浅型の場合は、寸法のみを参考にして下さい。

(深型：F
浅型：Aで示しています。)

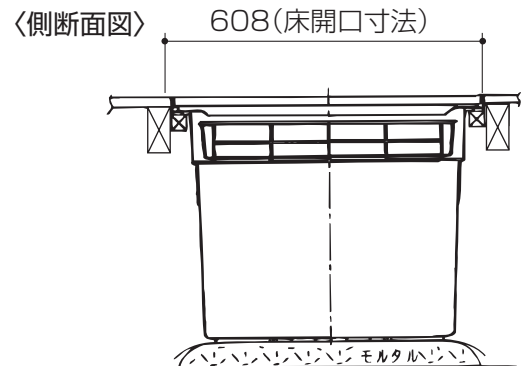
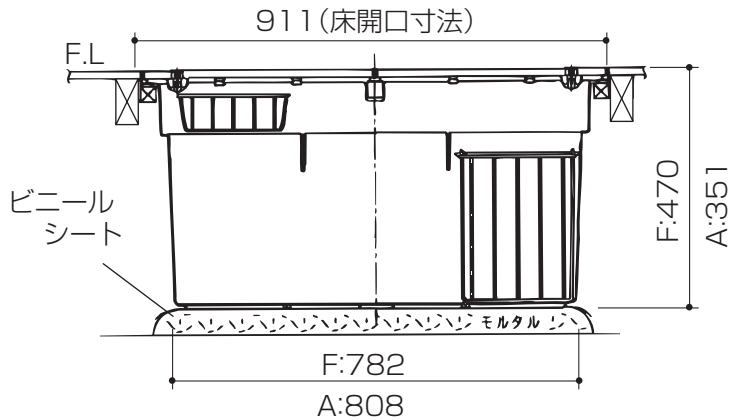
●ツルカゴ・仕切板の付属内容は商品によって異なります。

部材・部品表にてご確認ください。

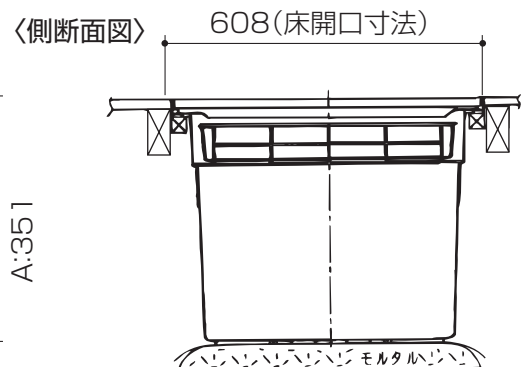
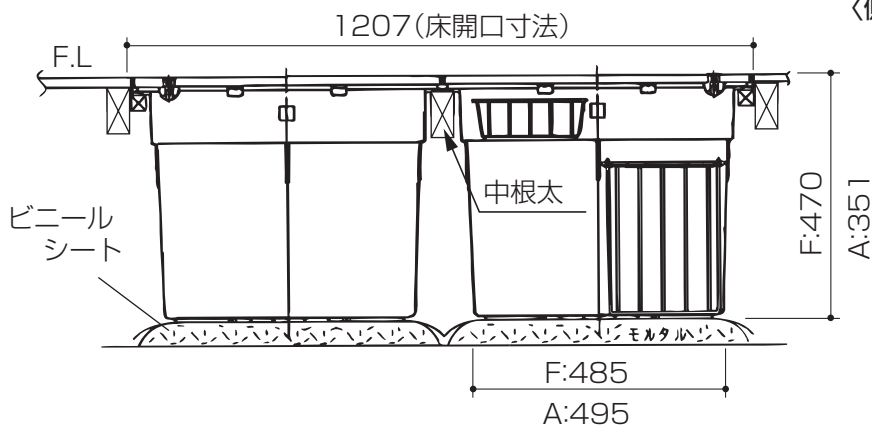
606タイプ



909タイプ



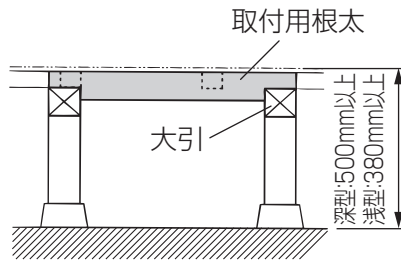
1212タイプ



5. 施工のしかた

施工前の準備

1. 大引の水平を確認する。
2. 床面から地面まで
深型は500mm以上
浅型は380mm以上確保する。
3. 取付用根太を組む。



浅型タイプを2階以上に設置する場合

1. はりの水平を確認する。
2. F.Lより380mmを確保し、野縁など
当たるものがないか確認する。

施工上のご注意

2階以上に設置する場合は、別途吊金具が必要
です。(階下への転落防止のため)

606・909タイプ — 吊金具セット KH1131 × 1個

1212タイプ — 吊金具セット KH1131 × 2個

施工上のご注意

深型タイプは1階専用です。2階以上には設置できません。

1. 床組み

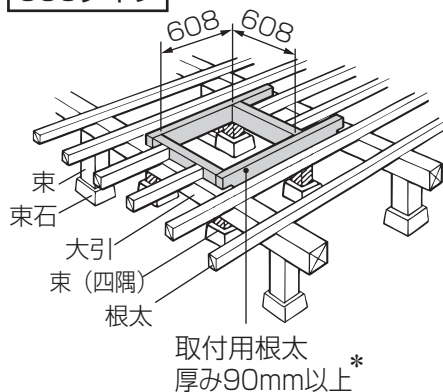
取付用根太を指定寸法位置に入れる。

* 2階以上設置時は105mm以上

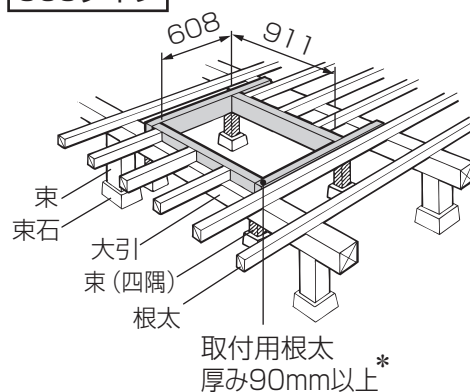
注意

- 取付用根太は、厚み90mm(2階以上設置時は105mm)以上を使用して下さい。
- 束を入れて強度を十分確保して下さい。
床のたわみや本体落下によるケガの原因となります。
- 1212タイプの場合は中根太の下に必ず束を立て、強度を確保して下さい。
中根太がたわみ、落下してケガの原因となります。

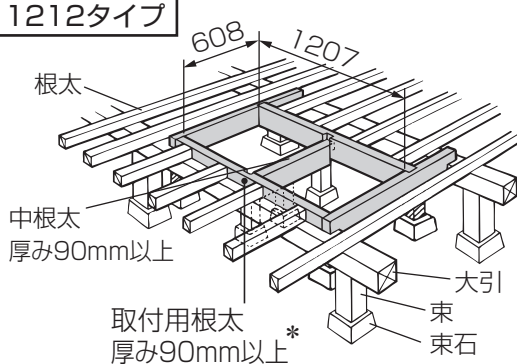
606タイプ



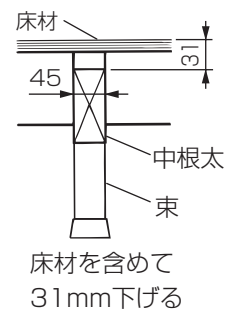
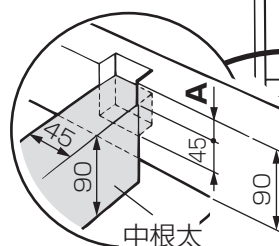
909タイプ



1212タイプ



■ 床材の厚さ
12mmのときA=19
15mmのときA=16



2. 床施工

- 床張りを行って下さい。

取付用根太に合わせ、床開口をつくる。

施工上のご注意

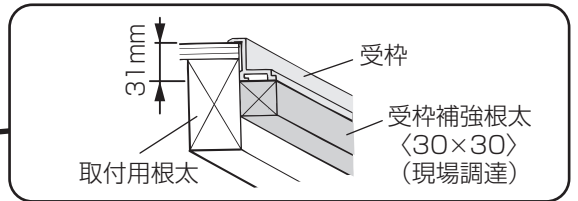
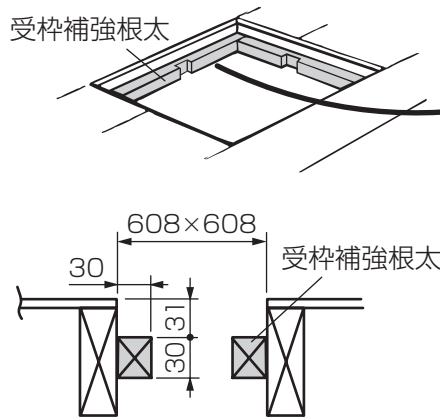
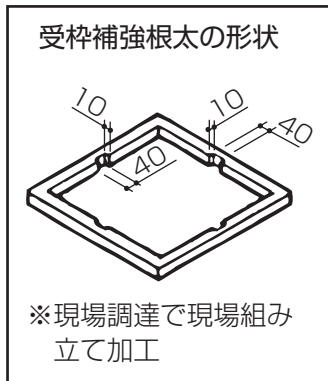
床鳴り、きしみなどを防ぐため、床と取付用根太は、
接着剤・釘などでしっかり固定して下さい。

606タイプ (2×2尺) の場合

3. 開口部の仕上げ

受枠補強根太を取り付ける。

※受枠補強根太を取り付ける際は、受枠を仮置きした状態で固定すると、受枠とすき間なく施工できます。



施工上のご注意

床鳴り、きしみ・たわみなどを防ぐため、取付用根太と、受枠補強根太は、木ネジ (現場手配:L45以上) でしっかり固定して下さい。(木ネジピッチ:300mm以下)

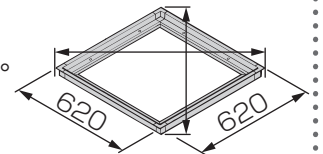
4. 受枠の取り付け

1. 開口部に受枠をセットする。
2. 受枠用皿木ネジで固定する。(8か所)

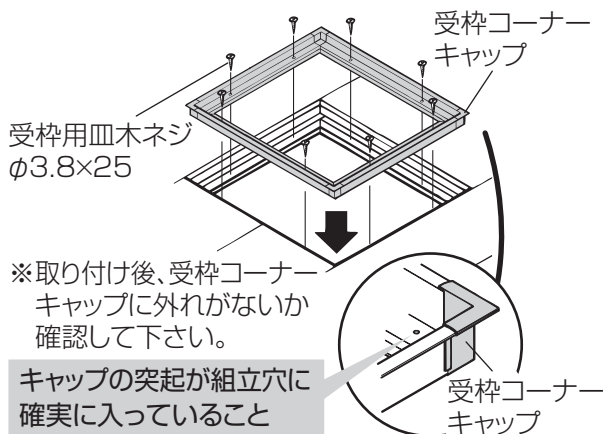
施工上のご注意

固定する際、必ず受枠にゆがみがないように調整して下さい。(ゆがんだまま固定すると、ふた枠が入らないおそれがあります。)

- ・対角寸法が同一か。
- ・コーナー部が直角になっているか。
- ・固定後、受枠の外寸法が右記のようになっているか。



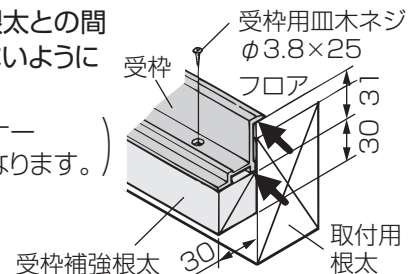
※ふた板を仮置きするなどして、調整して下さい。



※取り付け後、受枠コーナーキャップに外れがないか確認して下さい。

キャップの突起が組立穴に確実に入っていること

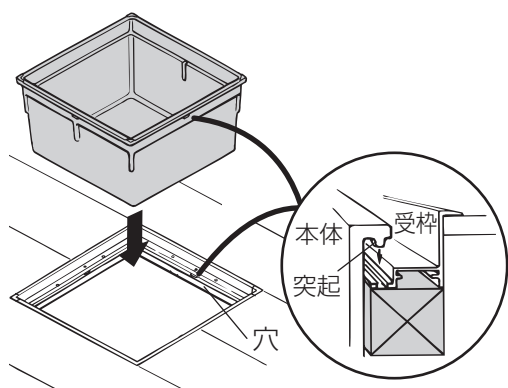
受枠とフロア、受枠補強根太との間 (←部) にすき間が生じないように確実に取り付けして下さい。(受枠のたわみ、受枠コーナーキャップの外れの原因となります。)



5. 収納庫本体の取り付け

収納庫本体を受枠の穴へはめ込む。

●本体の下は、必ずモルタル、砂袋、またはコンクリートブロック (レンガ) で受けて下さい。



■モルタル・砂袋で受ける場合

ビニールシート (本体を包装している物をご使用下さい。)



施工上のご注意

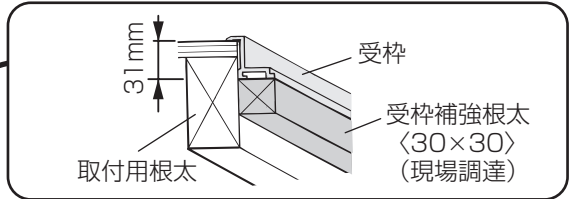
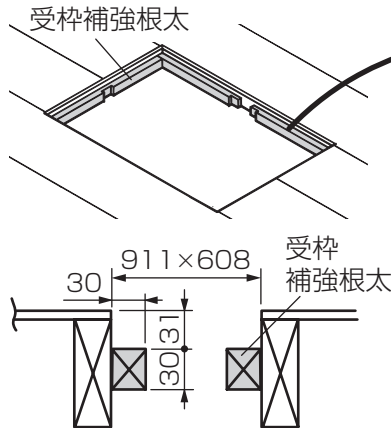
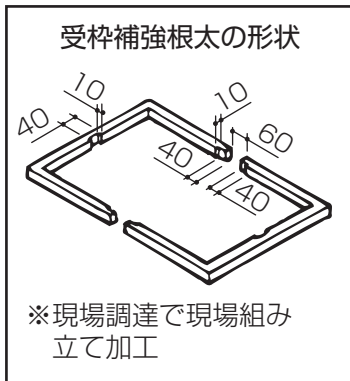
本体を押し下げる際、モルタルが固まらないうちに本体の底部を、必ず砂袋を押しつぶすように密着させて下さい。

909タイプ (2×3尺) の場合

3. 開口部の仕上げ

受枠補強根太を取り付ける。

※受枠補強根太を取り付ける際は、受枠を仮置きした状態で固定すると、受枠とすき間なく施工できます。



施工上のご注意

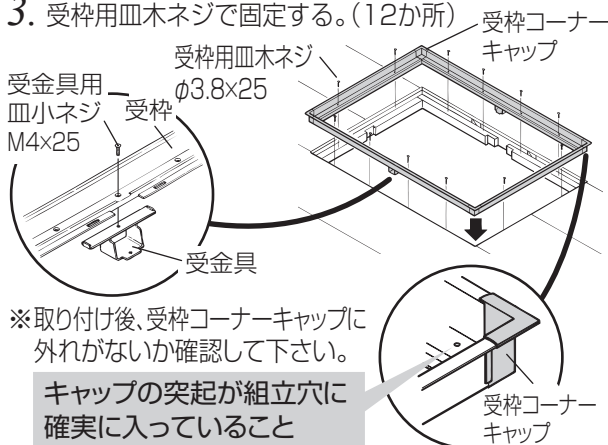
床鳴り、きしみ・たわみなどを防ぐため、取付用根太と、受枠補強根太は、木ネジ（現場手配:L45以上）でしっかり固定して下さい。（木ネジピッチ:300mm以下）

4. 受枠の取り付け

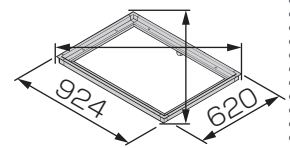
1. 受枠に受金具を取り付ける。
2. 開口部に受枠をセットする。
3. 受枠用皿木ネジで固定する。（12か所）

施工上のご注意

固定する際、必ず受枠にゆがみがないように調整して下さい。（ゆがんだまま固定すると、ふた枠が入らないおそれがあります。）



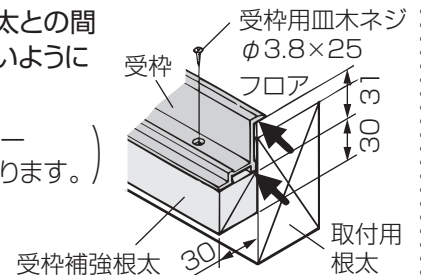
- ・対角寸法が同一か。
- ・コーナー部が直角になっているか。
- ・固定後、受枠の外寸法が右記のようになっているか。



※ふた板を仮置きするなどして、調整して下さい。

受枠とフロア、受枠補強根太との間（←部）にすき間が生じないように確実に取り付けして下さい。

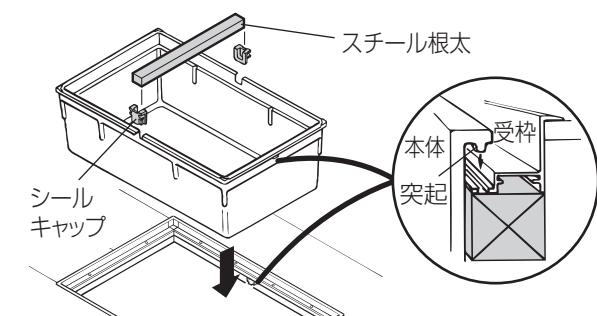
（受枠のたわみ、受枠コーナーキャップの外れの原因となります。）



5. 収納庫本体・スチール根太の取り付け

1. 収納庫本体を受枠の穴へはめ込み、シールキャップを取り付ける。
2. スチール根太を取り付ける。

●本体の下は、必ずモルタル、砂袋、またはコンクリートブロック（レンガ）で受けて下さい。



モルタル・砂袋で受ける場合

ビニールシート（本体を包装している物をご使用下さい。）



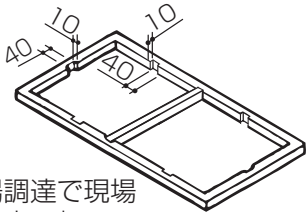
施工上のご注意

本体を押し下げる際、モルタルが固まらないうちに本体の底部を、必ず砂袋を押しつぶすように密着させて下さい。

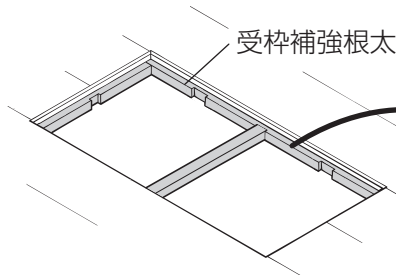
3. 開口部の仕上げ

受枠補強根太を取り付ける。

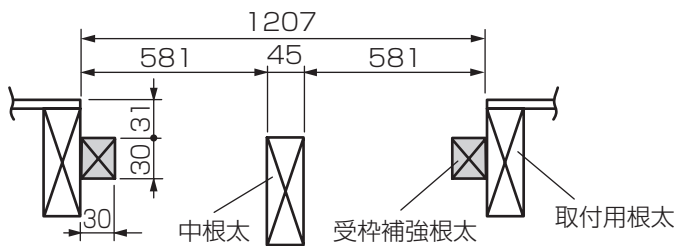
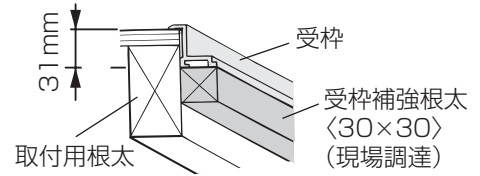
受枠補強根太の形状



※現場調達で現場組み立て加工



※受枠補強根太を取り付ける際は、受枠を仮置きした状態で固定すると、受枠とすき間なく施工できます。



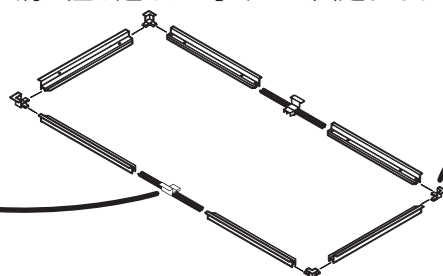
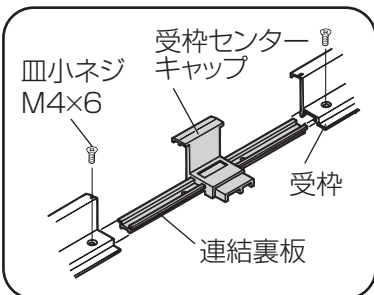
施工上のご注意

床鳴り、きしみ・たわみなどを防ぐため、取付用根太と、受枠補強根太は、木ネジ（現場手配：L45以上）でしっかり固定して下さい。（木ネジピッチ：300mm以下）

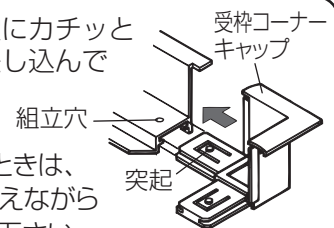
4. 受枠の取り付け

1. 受枠を組み立てる。

連結裏板を受枠、受枠センターキャップの溝に差し込み、皿小ネジで固定する。



突起が組立穴にカチッと入るまで、差し込んで下さい。



※入りにくいときは、突起を押さえながら差し込んで下さい。

施工上のご注意

指はさみに注意して下さい。

2. 開口部に受枠をセットする。

3. 受枠用皿木ネジで固定する。（12か所）

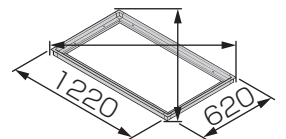
4. 中棧を皿木ネジで固定する。（4か所）

施工上のご注意

固定する際、必ず受枠にゆがみがないように調整して下さい。（ゆがんだまま固定すると、ふた板が入らないおそれがあります。）

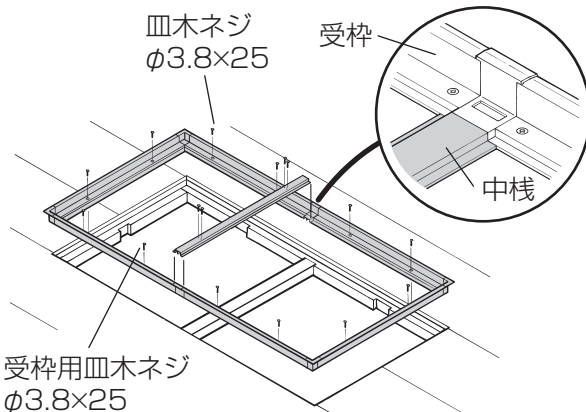
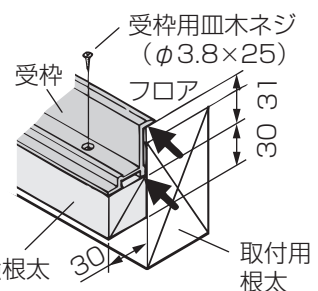
- ・対角寸法が同一か。
- ・コーナー部分が直角になっているか。
- ・固定後、受枠の外寸法が右記のようになっているか。

※ふた板を仮置きするなどして、調整して下さい。



受枠とフロア、受枠補強根太との間（←部）にすき間が生じないように確実に取り付けして下さい。

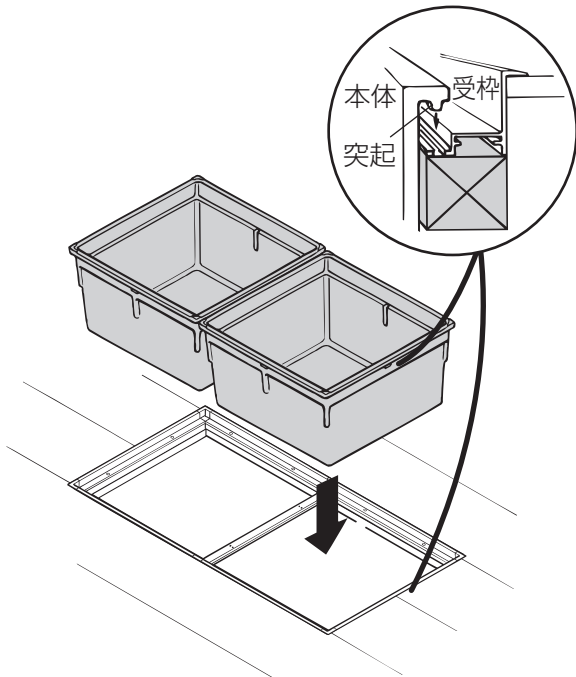
（受枠のたわみ、受枠コーナーキャップの外れの原因となります。）



受枠用皿木ネジ φ3.8×25

5. 収納庫本体の取り付け

収納庫本体を受枠の穴へはめ込む。



●本体の下は、必ずモルタル、砂袋、またはコンクリートブロック (レンガ) で受けて下さい。

■モルタル・砂袋で受ける場合

ビニールシート
(本体を包装している物をご使用下さい。)



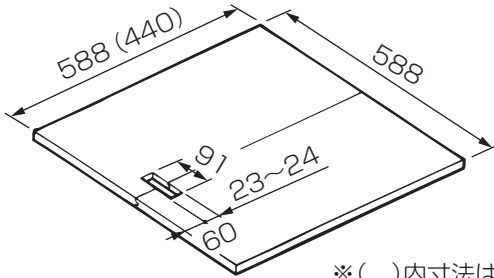
◆施工上のご注意

本体を押し下げる際、モルタルが固まらないうちに本体の底部を、必ず砂袋を押しつぶすように密着させて下さい。

6. ふたの作成

1. 床材を下図の寸法に加工する。

加工方法は付属の化粧板をゲージとしてお使い下さい。
床材板厚は15mmを確保して下さい。

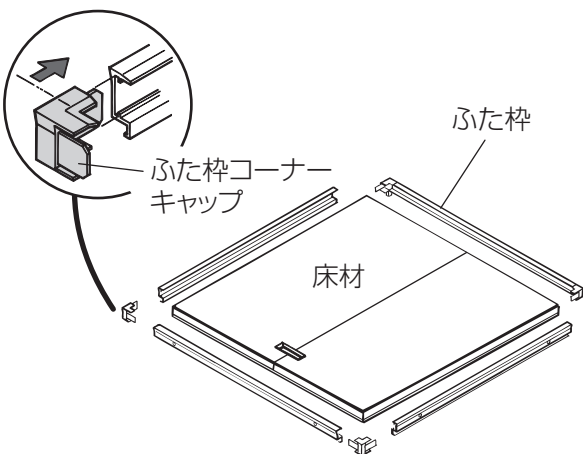


※()内寸法は909
タイプの場合。

- 板厚12mmの場合は裏面に付属の化粧板を接着して15mmにする。
- 板厚15mm以上の場合は裏面をかきとりして15mmにする。

2. ふた枠を取り付ける。

① 床材に沿わせながら、ふた枠にふた枠コーナーキャップを差し込み、組み立てる。



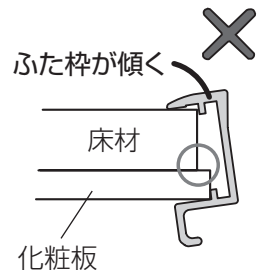
※ふた枠と床材がすれて音鳴りがする場合、床材・化粧板を軽く面取りして固定し直して下さい。

◀施工上のご注意

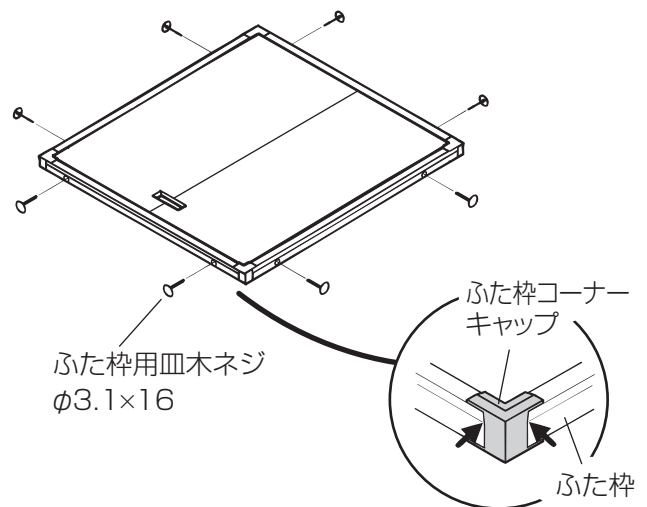
ふた枠が反るほど締めすぎない。
すき間・音鳴りの原因となります。

◀施工上のご注意

- 取っ手の穴位置は、補強材と平行になるようにあける。
- ふた板の反りに十分注意する。
- フロアの場合、板の継目(さね部)が中央にくるように切断する。
- 床材の場合、外周面に木口の溝(さね部)が残らないように加工する。
(木ネジがききにくくなります。)
- 木質直貼床材(裏面クッション材貼り)は使用しない。
- さね部の接着は確実に行う。
また、床材と化粧板の接着は確実に行う。
(たわみの原因となります。)
- 床材と化粧板の端面は確実に合わせる。
(ずれがあると、ふた枠の倒れの原因となります。)
- 接着剤は全面にまんべんなく塗る。



② ふた枠用皿木ネジで固定する。(8か所)

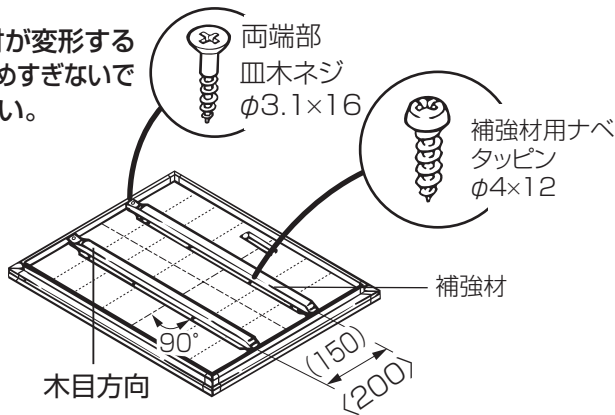


◀施工上のご注意

ふた枠とふた枠コーナーキャップにすき間が出ないように押さえながらネジ止めする。

3. 補強材を取り付ける。

補強材が変形するほど締めすぎないでください。

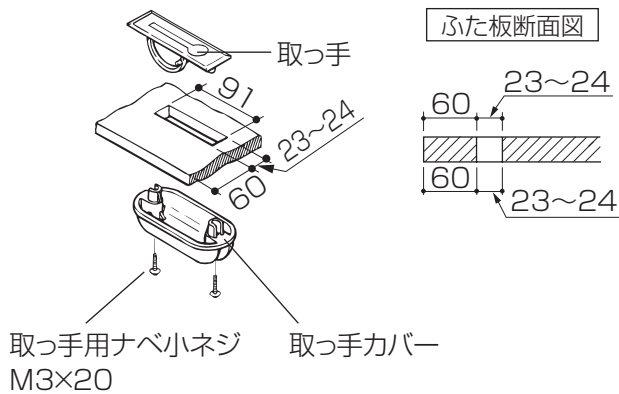


※ 〈 〉 内寸法は606・1212タイプ
 () 内寸法は909タイプの場合。

◀ 施工上のご注意

フロアの場合、板の継目と補強材が直角になるように取り付ける。

4. 取っ手を取り付ける。



◀ 施工上のご注意

- 表裏同じ寸法で加工する。
- 取っ手が自立しないことを確認する。
 (取っ手が自立してつまづくおそれがあります。)
- 手回しドライバーで固定する。
 (電動ドライバーの場合、破損するおそれがあります。)

6. 施工後の確認

- ふたの開閉はスムーズですか？
- 受枠とふた枠はきちんと納まっていますか？
- 取扱説明書はお客様に渡していただけましたか？

DAIKEN製品の品質保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象製品

床収納44型

■保証期間

引渡し後2年とさせていただきます。弊社商品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

■保証期間内でも以下の場合には有料となります。

- ①建物の設計・施工に起因する場合
- ②自然現象・周辺環境等の不可抗力に起因する場合
- ③建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する場合
- ④入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する場合
- ⑤経時変化による通常一般的な当該保証対象製品の色褪せ、汚れ、劣化、摩耗など
- ⑥製造時に実用化されていた技術では予測する事が不可能な事象に起因する場合
- ⑦その他当該不具合品の発生が弊社の責によらない場合

ユーザー登録サービス

製品を末永く安全にご使用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です！！

登録はこちらから
<https://www.daiken.jp/qr/user/>



ユーザー登録いただいた方は、次の特典が受けられます

特典 パーツショップ製品10%割引
ご登録いただくと、DAIKENのパーツショップ掲載製品を通常価格の10%割引でご購入いただけます。

お問い合わせ窓口について ●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

製品に関するお問い合わせ

DAIKENお客様センター

☎ **0120-787-505**
(フリーダイヤル)

● 受付時間…平日9:00～17:00

(土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいております)

<https://www.daiken.jp/qr/form01/>

メールで
写真も
送ることが
できます。



修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ

部品のネット販売サイトです。

※購入に際しては登録が必要です。

<https://www.daiken.jp/qr/service/>

[DAIKENホームページ](#) ▶ [お客さまサポート](#) ▶

▶▶▶▶ [DAIKENパーツショップ](#)



ご相談窓口における
個人情報のお取扱い

大建工業株式会社および大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針(プライバシーポリシー)」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。(大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。) なお、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス <https://www.daiken.jp/>

240109-JK-1030T-Y3-SX

D1009-6014